

サルデーニャ

マクリ・クリスティーナ

サルデーニャはイタリアの島です。シチリア島に次ぎ、地中海で2番目に大きな島となっています。

古代にこの島はフェニキア人によりイクヌーザと呼ばれていました。現在は“イクヌーザ”というのはサルデーニャで一番人気があるビールの名前です。また、古代ギリシャ人はサンダリオンと呼ばれていました。

サルデーニャ島の面積は24000ぐらいキロメートル、人口は165万人で州都はカリアリです。東側にティレニャ海、北側はボニファシオ海峡とフランスのコルシカという島があります。また、西側はサルデーニャ海と呼ばれていて、南側にはシチリア島があります。

サルデーニャの気候は地中海性気候なので、春と秋は暖かく、夏は暑く、冬は涼しいですが近年は旱魃が続いています。

山地と丘陵地がサルデーニャの80%を占めています。一番有名な山は“ラ・マルモラ”と“ジェッナルジェンテウ”という山です。また、平地が18%を占めて、サルデーニャの真ん中にある“カンピダーノ”という平原は最も広いです。そして、オモデオ湖という人造湖のうちでイタリアで一番広い湖があり、サルデーニャの川は“ティルソ”と“フルメンドーザ”などです。最後にサルデーニャはいろいろな小さい島に囲まれています:北に“マッダレーナ”と“アシナラ”、北東に“タヴォララ”、南に“サン・ピエトロ”と“サント・アヌテイオコ”があります。

この良い気候と地理のおかげでサルデーニャは豊かな自然資源があります。その上、サルデーニャにはいのししをはじめて多くの希少種の動物がいます。

サルデーニャ州は8つの県からなります。カリアリ県、ヌーオロ県、サッサリ県、オリスターノ県、に加え、2005年にオルビア/テンピオ県、オリアストラ県、カルボーニャ/イグレージラス県、メディオ・カンピダーノ県が加わりました。

サルデーニャの県の中でオリスターノというのはカンピダーノという平原の西側にあります。その起源はとても古く10世紀14世紀にかけては島民による独立都市だったアルボレーアを中心街でした。

オリスターノ市はあまり大きくない町ですが様々な興味がある古い建造物が見られ、伝統的なイベントも行われています。

“マリアーノ・タワー”と“エレオノーラ・ダルボレーア像”といのは最も有名な古い建造物です。マリアーノ・タワーは1290年に建立されて、元々に昔の城壁の正面門でした。エレオノーラ・ダルボレーア像はオリスターノの最後の女王でした。その建造はオリスターノの象徴として知られています。

伝統的なイベントのうちで最も有名なのは“サルティーリャ”というイベントです。これは馬の競走で、毎年カーニバル時に行われ、起源の中世に遡るのでとても古いイベントです。競争長は“ス・コンポニドーリ”と呼ばれていて、次に“ス・セクンデウ”と“ス・テルズ・クンポイ”がいます。その3人は一番肝心な騎手です。この3人と他の大勢の騎手は剣を持

って、1人ずつ助走して、剣で2本木の間にある星のような形のペンダントを突き通すというイベントです。

星のような形のペンダントを取れば取るほどオリスターノの豊作になると信じられています。

サルティエリヤの後に“パリーリア”というイベントも行われています。騎手は馬で走りながら3人で馬のしりに立って、いろいろな曲芸をします。とてもときどきさせられるイベントです。

最後に、サルデーニャは食物でも有名です。例えば、“パネ・カラザウ”というのはとても薄くてカリカリしたパンです。そして“マッロレッデウズ”というのは伝統的な料理で、小さいニョッキです。また、いろいろなチーズとワインもあります。

つまり、サルデーニャ州は5つの味覚と嗅覚と触覚と視覚と聴覚、全てを満足させてくれるのです。